

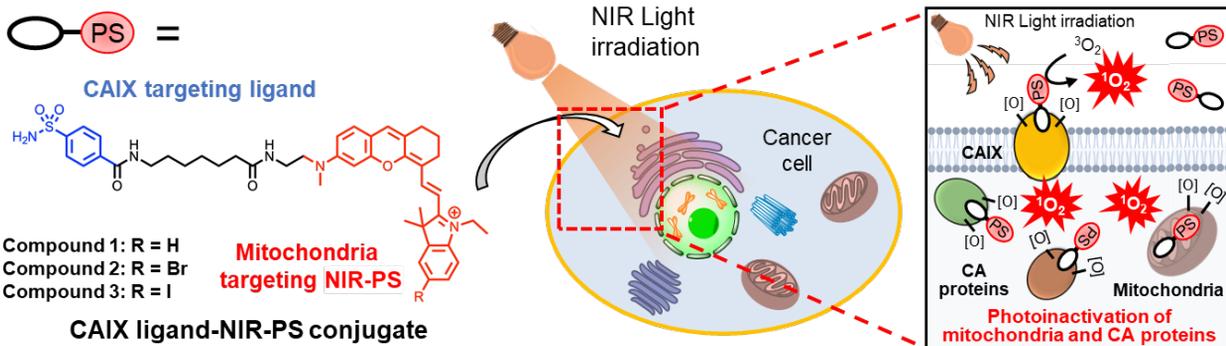
近赤外光によって励起される新規な光線力学療法用光増感剤

新技術の概要

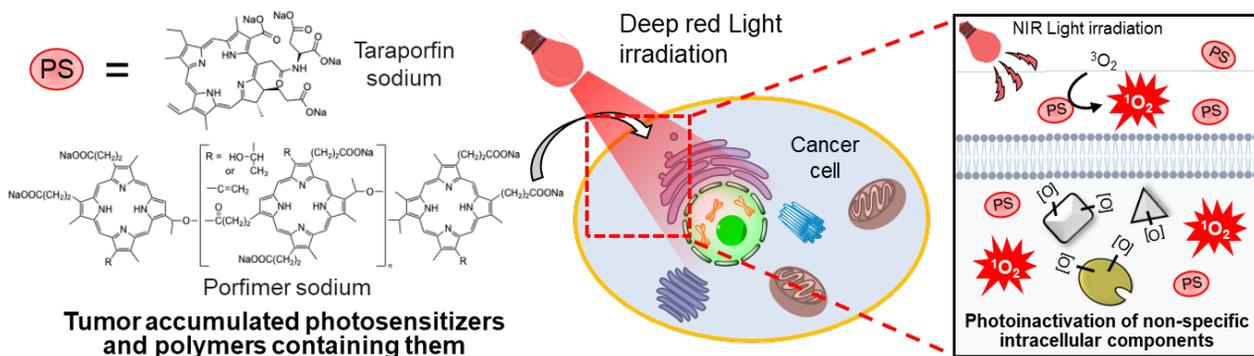
本発明は、がん特異的タンパク質に結合する基を有し、近赤外光によって励起される光感受性物質を含有することを特徴とする光線力学療法用光増感剤に関するものである

- 大腿部にがん移植マウスを用いた治療実験では、Talaporphin sodium（レザフィリン）を投与したマウス群では、いずれもがんは収縮するものの周辺組織への損傷が酷く、実際に足を引きずりながら歩くのに対し、本発明の化合物を投与したマウス群ではそのような損傷は確認されなかった

本発明



従来技術



本技術のアピールポイント

本発明の光増感剤は、正常組織にほとんどダメージを与えることなく、腫瘍組織を壊死させることができる

用途分野

創薬

特許情報

発明の名称：近赤外光がん治療用医薬品

発明者：中村浩之、三浦一輝

出願番号：2025-033074

整理番号：24T177

 Institute of
SCIENCE TOKYO

お問い合わせ先：

国立大学法人 東京科学大学 産学共創機構

ind.ip@adm.isct.ac.jp